

きゅうやなかむらあと  
旧谷中村跡



「ふじおか見てある記」藤岡町教育委員会から

明治時代に起こった  
あしおとうざんこうどくじけん わた  
足尾銅山鉱毒事件は、渡  
ら せがわ  
良瀬川上流にある足尾銅  
山（現日光市足尾町）から  
じゅうきんそく  
重金属を含んだ土砂が  
川のはんらん  
川の氾濫によってあふれ

出し、流域の村々に大きな被害をもたらした出来事です。明治政府は下流域に遊水池ゆうすいちを造成することを決定し、谷中村がその候補地になりました。1906（明治39）年7月1日、谷中村は藤岡町に合併され、17年の歴史を閉じました。

（「栃木市藤岡歴史民俗資料館」案内から）

今の谷中は、その中心が史跡ゾーンとして整備されています。また、1971（昭和46）年には、旧谷中村合同慰霊碑が建てられました。